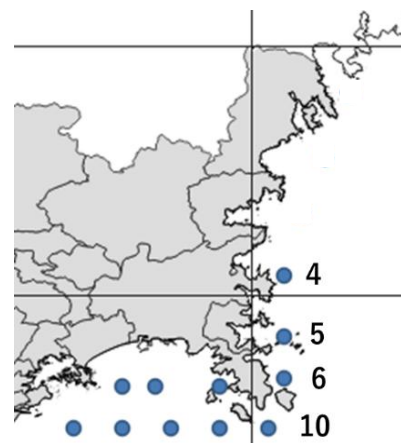


令和 8 年度 牡鹿半島周辺・以北_貝毒原因プランクトン出現状況 (NO. 2)

令和 8 年 4 月 30 日
水産技術総合センター

- 1 調査月日 令和 8 年 4 月 30 日
- 2 調査地点 右図の 4 定点 (St. 4, 5, 6 及び 10)
- 3 概要 (詳細は下表のとおり)
 - 1) 水温: 表層で 10.9~10.0 °C の範囲にありました。
 - 2) 貝毒原因プランクトン出現数
 - ・麻痺性貝毒原因プランクトン (*Alexandrium* spp.) は St. 5 で 20 細胞/L 確認されました。
 - ・下痢性貝毒原因プランクトン (*D. acuminata*) は St. 5, 6, 10 で 10 細胞/L 確認されました。



調査地点図

調査結果表 (4 定点)

St.	日時 水深 (m)	透明度 (m)	表面水温 (°C)	貝毒プランクトン出現数 (細胞/L)							
				<i>Alexandrium</i> spp.		<i>D. fortii</i>		<i>D. acuminata</i>		他 <i>Dinophysis</i> 属	
				4月30日	4月13日	4月30日	4月13日	4月30日	4月13日	4月30日	備考
4	4月30日 11:09 83.2 m	4.5	10.0	0	0	0	0	0	10	0	
5	4月30日 10:30 35.1 m	5.5	10.4	20	10	0	0	10	10	0	
6	4月30日 9:42 65.8 m	5.0	10.0	0	0	0	0	10	20	0	
10	4月30日 8:52 84.2 m	5.0	10.9	0	70	0	0	10	20	0	

※貝毒プランクトンサンプルは0~20m層における柱状採水